

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28~30年度:計画作成主体:鶴岡市農業振興協議会)(山形県)

取組の概要

- 対象品目 : 露地野菜(えだまめ、ねぎ)
(産地面積193.72ha)
- 主な取組主体 : 地元農業者
- 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
基準(H28年度) 26.7万円/10a
目標(R2年度) 29.4万円/10a
- 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース:トラクター、プラウ、中耕ローター、収穫機、マニュアルプレッダー、自動脱莢機、ラジコン動噴、洗浄機、定植機、選別機、根葉切り機、定量袋詰機、ブームスプレーヤー、野菜移植機等)



山形県
鶴岡市
鶴岡、羽黒、藤島、楡引地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

新規就農者や規模拡大を模索する農業者も出てきているが、高齢化により担い手不足が予想される。作業効率を上げ、収益をアップさせることが課題である。
えだまめでは山形県えだまめ日本一産地化プロジェクトに呼応し収穫量向上と品質向上を進め、ねぎについては本市特産の軟白ねぎの一層の生産振興と長ねぎの出荷期間の長期化を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】

管理機械等の導入により収穫量向上・作業効率向上を見込み、園芸作物の収益性向上、水田農業の複合化に向けた取組みを推進する。

産地体制

- 山形県庄内総合支庁
- 鶴岡市
- JA鶴岡
- JA庄内たがわ

- 鶴岡市地域農業再生協議会
- ①計画の策定・管理
 - ②取組計画への助言

指導・助言 情報共有

- 取組主体と協議会、行政(県、市)、JAとの情報共有(取組状況、販売等)
- 行政機関(県)による技術面のサポート体制

- 取組主体
- ①取組計画の作成
 - ②取組実施等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 農地集積等による生産規模拡大
- えだまめの栽培管理研修会の開催
- ねぎの防除体制の見直しによる適期防除

取組成果

【事業実施による直接効果】

- 管理機械等の導入により作業効率が向上し収穫量及び販売額が増加

【事業実施による間接効果】

- 産地全体で高品質生産に取り組む機運が醸成(研修会の開催、防除体制の見直しを実施)

